

## 目標達成計画

作成日: 平成 23 年 5 月 10 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念をホームの理念としており、グループホームとしてのサービスの特性を踏まえたものとするために再検討する必要がある。	法人の理念を基盤にしながらホーム独自のスローガンを掲げる。	スタッフ全員で意見交換をし全員で決めたホームのスローガンを作成した。 ① 明るい挨拶と笑顔のグループホーム ② 常に利用者の立場に立つ ③ 報告、連絡、相談を確実に	2ヶ月
2	4	運営推進会議を2ヶ月に1回開催予定としているが実施出来ない月があった	2ヶ月に1度の開催を必実施する。	本年度は奇数月に開催をする事を取り決め実施する。 初回5月	12ヶ月
3	29	常に利用者の立場にたった介護を実践するなかでもっと地域の方々の協力を得る事は出来ないか再検討の必要がある。	趣味、病院付き添い以外の傾聴や、ホームの周りの整備、食事の準備等のボランティア募集をし協力を得る。	運営推進会議でボランティア募集要項について意見交換をし協力を得る。	12ヶ月
4	35	災害対策について 予想をはるかに超える災害を想定した場合現在 実施している年2回の避難訓練と月2回のシュミレーションで対応出来るのか再検討の必要有り	地震、風水害、火災のマニュアルの見直し整備を行い、避難訓練の回数を増やし、いつでも速やかに避難できる方法を、全職員が身につける。	ホーム内の災害対策委員会を設けマニュアル見直し整備を遂行する共に月毎の避難訓練を実施する。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。